

第2章 市の概要と住民ニーズ

2

第1節 市の概要



佐伯市は、大分県南東部の豊後水道に面する港町です。平成17年（2005年）に、旧佐伯市と5町3村が新設合併して、約903 km²の九州最大の面積の市となりました。

市域は、リアス海岸が連なる上浦地区・佐伯地区北部・鶴見地区・米水津地区・蒲江地区と、農山村地区である弥生地区・佐伯地区南部・本匠地区・宇目地区・直川地区に分かれ、4つの有人離島（大入島、大島、屋形島、深島）があります。

令和6年1月末現在の住民登録世帯人口は65,541人、高齢化率は41.8%で、昭和50年代に9万人台であった人口は減少を続けており、農山漁村地域の活力の維持が課題となっています。

佐伯市地図



資料：公益財団法人国土地理協会「全国市町村マップ」に地域名を追記

住民登録世帯人口（令和6年1月末現在）

	佐伯地区	上浦地区	弥生地区	本匠地区	宇目地区	直川地区	鶴見地区	米水津地区	蒲江地区	合計
人口	42,007	1,611	6,935	1,157	2,276	1,747	2,443	1,585	5,780	65,541
高齢者人口	15,610	901	2,675	672	1,321	992	1,322	824	3,065	27,382
高齢化率	37.2%	55.9%	38.6%	58.1%	58.0%	56.8%	54.1%	52.0%	53.0%	41.8%



地域福祉に関する意識や行動の状況を把握するため、令和4年（2022年）11～12月に、市民3,000人を対象に、郵送による配布・回収と、市ホームページでのWEBアンケートフォームへの入力方式を併用して、アンケート調査を実施しました。

アンケート調査の配布・回収の状況

郵送配布数	回収数 (郵送+WEB受付)	回収率
3,000票	1,151票	38.4%

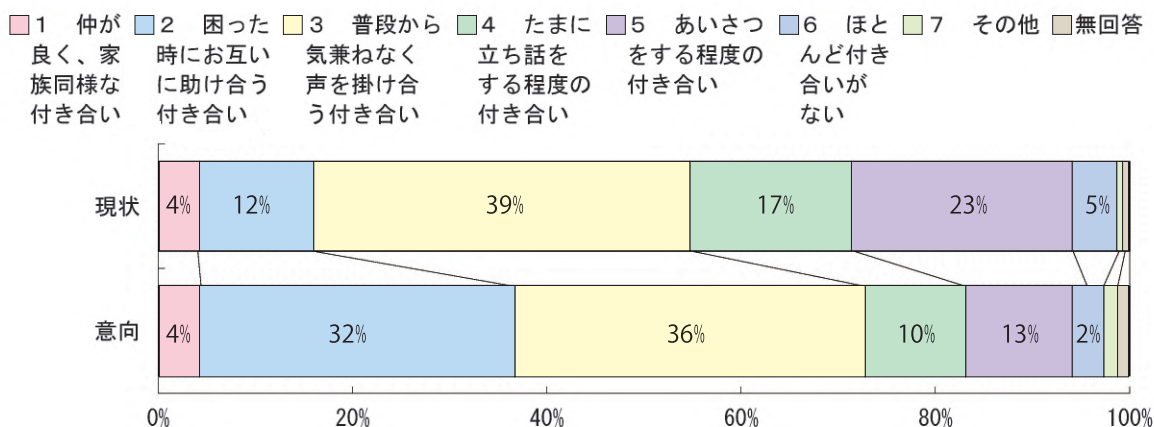
1 近所づきあいの状況と意向

～「地域づくり」のおおもととなる「近所づきあい」を深めていくことが望まれる～

近所づきあいの現状と意向を尋ねたところ、「困った時にお互いに助け合う付き合い」をしている割合が12%と少ないのに対し、そうしたいという意向を32%の市民が持っていることが分かりました。

「地域づくりに向けた支援」により、「『困った時にお互いに助け合う付き合い』ができて人・世帯を増やすこと」が期待されます。

近所づきあいの状況と意向



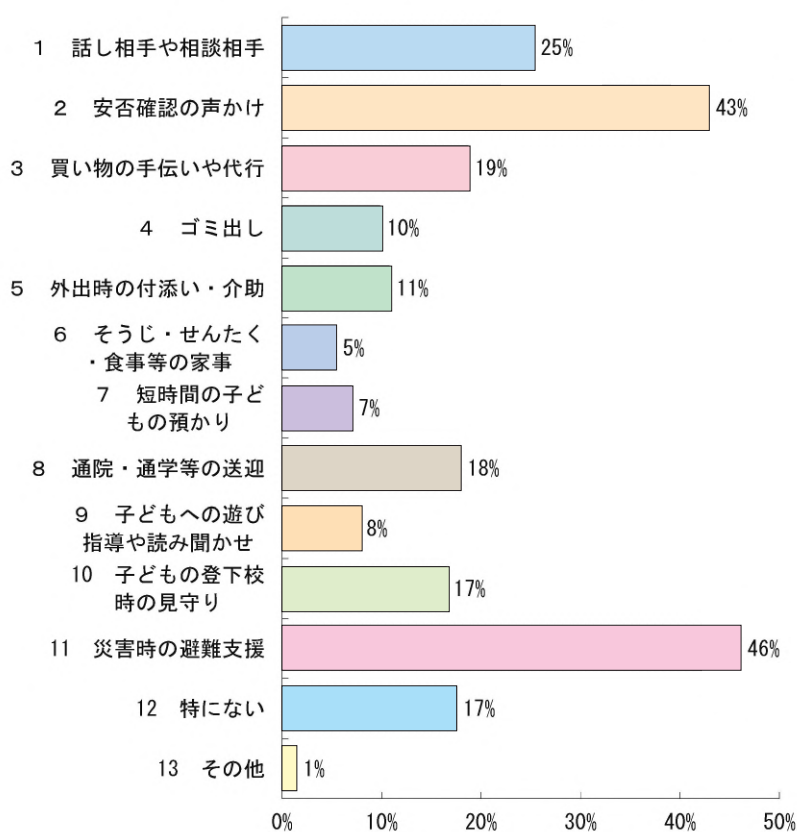
2 地域にあったらいいと思う支え合い活動の内容

～「地域づくりに向けた支援」による支え合い活動の活性化が望まれる～

「地域にあったらいいと思う支え合い活動の内容」を尋ねたところ、「災害時の避難支援」と「安否確認の声かけ」がそれぞれ4割強で最も多く、「話し相手や相談相手」、「買い物の手伝いや代行」、「子どもの登下校時の見守り」など、多くの項目で1～2割の住民があったらいいと思っていることが分かりました。

「地域づくりに向けた支援」により、それぞれの地域における、こうした支え合い活動を活性化させていくことが期待されます。

地域にあったらいい支え合い活動の内容



3 地域の人々に対して協力できること

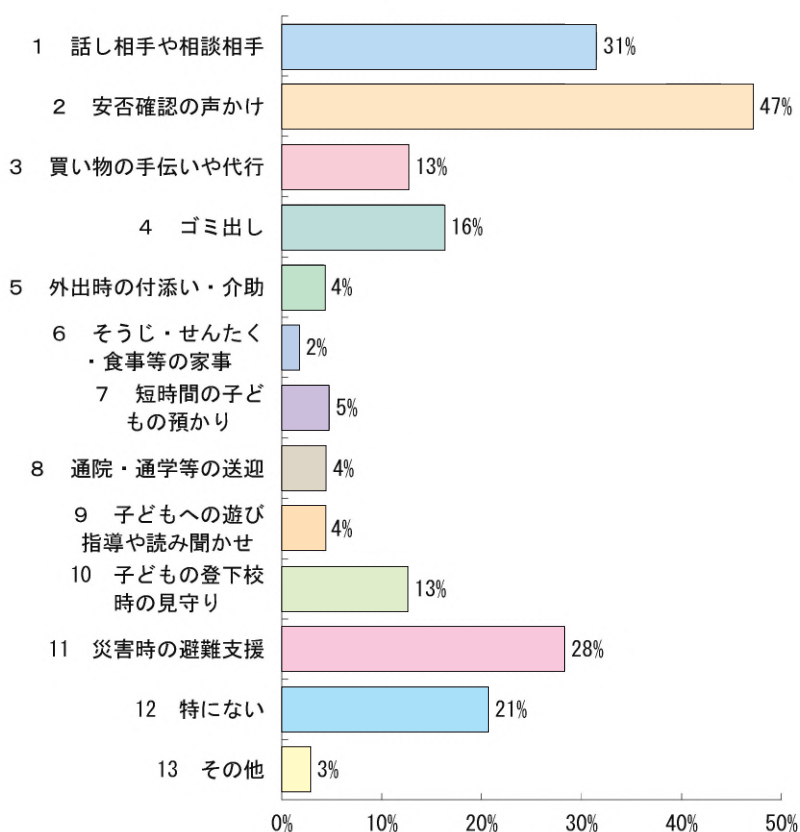
～「包括的な相談支援」の入口として、「地域住民どうしの相談」が期待される～

「地域の人々に対して協力できること」を尋ねたところ、「安否確認の声かけ」を半数近くの住民が、「話し相手や相談相手」を約3割の住民が、「協力できる」と回答しています。

専門職等による「包括的な相談支援」も、その入口として、地域住民が、困っている人・世帯の存在やニーズを知り、本人・家族に代わって、専門職等にそのことを伝えることが重要です。

「協力できる」と考えている人の中でも、実際に行動を起こしている人は一部であると考えられることから、地域住民どうしが相談ごとをしあい、それをきっかけとして、専門職等による相談支援につなげていく仕組みを醸成していくことが期待されます。

地域の人々に対して協力できること



4 ボランティア活動の参加状況

～ボランティアを増やし、課題を抱える人の「社会参加」を支援することが期待される～

「この1年間のボランティア活動の参加状況」を尋ねたところ、「行っている」は21%、「行っていない」は67%で、無回答が11%ありました。

この「ボランティア活動の参加状況」は、地区ごとに差があり、「青山」や「本匠」では40%台と高い一方、「上堅田」では12%、「八幡」では14%と低くなっています。

課題を抱えた人・世帯を地域とつなぐ「参加支援」には、専門職と地域のボランティアの協働による伴走型の支援が不可欠ですが、地区ごとに、こうした現状を踏まえ、ボランティアの参加率を向上させていく施策を進めることが期待されます。

地区別のボランティア活動の参加状況

■ 1 行っている ■ 2 行っていない ■ 無回答

